

平成28年度 目黒区立第八中学校 学校評価のまとめ

(3月1日現在)

| 評価項目 | 評価の結果 | 次年度の教育課程の改善点 |
|---|---|---|
| <p>学校全体について</p> <p>・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて 保護者 90.2%、生徒 91.6%、 地域 81.8%、教員 95.7%</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <p>○「先生たちは、生徒のことを考えて指導してくれるか」について、肯定的な評価が昨年度より4.4ポイント上がり92.1%となった。</p> <p>●「工夫した授業を行っているか」という項目について、生徒と保護者との評価に開きがある。</p> <hr/> <p><学校評価委員の意見></p> <p>・授業を見学したが、どの学年も落ち着いて取り組んでいた。掲示物なども整然としていて、全体的に落ち着いている雰囲気が感じられた。引き続き、「楽しく分かる授業」に取り組んでほしい。人権教育に取り組んだ成果がうかがえる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日常のあらゆる場面で、生徒同士、生徒と教職員とのふれあいを大切にし、心を育てる教育を推進し、「生徒が安心して通える学校」を目指す。 ・授業規律・生活規律の指導を徹底し、落ち着いた学校を目指す。学校全体で授業改善を行い、「分かる授業」「楽しい授業」を実践する。 ・生徒による授業評価を継続し、授業改善にいかす。 |
| <p>I 学校目標について</p> <p>・教育目標、時程、教育内容全体について 保護者 87%、生徒 81%、 地域 86%、教員 100%</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <p>○教育目標や指導の重点は、保護者会や地域でも説明しており、生徒や地域の実態に合った適切な内容であると評価されている。</p> <p>○人権尊重教育推進校として、「考えて行う」に重点を置き様々な教育活動に取り組み、生徒の変容が見られる。</p> <p>●保護者、地域の理解度が前年度より低下傾向にある。</p> <hr/> <p><学校評価委員の意見></p> <p>・適切な教育目標である。行事等の目標に教育目標を関連させて、定着させようという努力がうかがえる。毎年、重点目標を設定し、定着を図ってほしい。意識して行動できるようになると素晴らしい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全校朝礼や行事などで教育目標に触れる機会を増やし、理解を高める。 ・諸活動のねらいや目標を教育目標と関連させ、生徒や保護者に周知したうえで、活動に取り組む。 ・次年度の重点目標を明確にし、生徒、保護者、地域に周知する。「考えて行う」をさらに徹底して指導していく。 |
| <p>II 心の教育について</p> <p>・道徳の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組に</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <p>○道徳の授業時間を確実に確保すると共に、充実を図るために「考え、議論する」場面の設定を工夫した。生徒・保護者からも高い評価を受けた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業で考えたことを、日常生活において実践する機会を増やす。また、オリンピック・パラリンピック教育と関連づけ、障害者スポーツについて理解を深めさせたい。 |

| | | |
|--|---|--|
| <p>ついて 保護者 89.1% 生徒 94.1% 教職員 100%</p> | <p>●高い評価を受けつつも、昨年度より保護者 3.0 ポイント、生徒 2.5 ポイント低下しており、道徳の授業のさらなる工夫と、道徳的実践力の向上に向けた取組を考える必要がある。</p> <p><学校評価委員の意見></p> <p>・道徳の授業が定着し、生徒たちが安心して意見を述べ合える雰囲気ができているようである。良好な人間関係を築くことは、社会生活を営むうえで重要なことである。</p> | <p>・人権尊重教育推進校としての成果を絶やすことなく思いやりの心を育む。</p> |
| <p>Ⅲ 学習指導</p> <p>・学力の定着・向上にむけた授業の改善・充実、少人数指導などの取組について</p> <p>・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</p> <p>保護者 68.9% 生徒 85.2% 教職員 95.7%</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <p>○生徒の少人数指導に対する評価が 85.6%と昨年度と比べ 14.4 ポイント向上した。</p> <p>○朝読書の取組について高い評価を受けている。一日の始まりを落ち着いた雰囲気で行うことができる礎となっている。</p> <p>○体験活動については、生徒・保護者とも 90%以上の高い肯定的な評価であった。</p> <p>●放課後学習教室と土曜補習教室に対する評価が低い値であった。</p> <p><学校評価委員の意見></p> <p>・放課後学習教室の評価が低いのが気になる。部活動と重なり、参加しにくいのかも知れない。学力面で心配な生徒が参加しやすいような工夫が必要ではないか。ICT機器をさらに活用してほしい。</p> | <p>・本年度から、数学科と英語科の少人数指導が始まり、生徒の実態に即した指導を進めた成果があらわれている。特に ICT機器を活用して、生徒の興味・関心を高め、理解を深める授業を展開した。引き続き成果と課題を全教員で共有して、授業改善に努める。</p> <p>・放課後学習教室と土曜補習教室は、生徒の実態も踏まえながら、個別に声かけをする。学習習慣の定着と学力補充に向けて充実を図る。</p> |
| <p>Ⅳ 体育・健康教育について</p> <p>・健康の促進、体力の向上に向けた取組の充実について</p> <p>保護 73%、生徒 88%、教員 91%</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <p>○「学校は子供の体力向上や健康の増進に積極的に取り組んでいる」の質問に対して、3.3 ポイント上がって 73%となった。</p> <p>●保護者の評価が低いのは、学校での取組について理解が低いと考える。保護者の認識を高めていく必要がある。</p> <p><学校評価委員の意見></p> <p>・運動会、部活動などで、体力向上に努めている様子が伺えた。東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツに親しむ態度を養ってほしい。</p> | <p>・保健体育科の授業や部活動、運動会等の体育的行事に積極的に取り組ませる。部活動では 70%の生徒が運動部に在籍している。今後も引き続き内容を充実させていく。</p> <p>・栄養士による、食育や健康教育を実施する。</p> <p>・生徒が自主的に日常の健康管理を実践できる活動を保健給食委員会を中心に実施する。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>V 特別活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実、異学年交流活動、部活動の活性化などについて 保護者 87%、生徒 92% 地域 73% 教員 96% | <p>＜四者による学校評価アンケートの主な内容＞○成果 ●課題</p> <p>○「充実感を得ているか」の質問に対しては、生徒、保護者、教職員の評価は約90%と肯定的な評価を得ている。</p> <p>●「部活動の充実に努めている、工夫に努めている」の質問に対しては、保護者の肯定的評価が74.7%となっており、学校での取組や努力が周囲に理解、浸透しきれていない。</p> <hr/> <p>＜学校評価委員の意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動は様々な課題がある中で実施していると聞いている。生徒たちが楽しみにしている活動なので、充実させてほしい。外部指導員を確保するなど、先生方に過度な負担とならないように実施してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会では、エイサーなど全校生徒で行える演技種目を継続し、良き伝統としていく。 ・生徒会専門委員会の活動内容の広報を充実させ生徒会活動の活性化に努め、多くの生徒が生徒会主催行事に参加することにつなげていく。 ・夏季休業中を利用した近隣小学校6年生に対する部活動体験を継続し、中学校の魅力を発信する。外部指導員の確保に努め、部活動の充実に努める。 |
| <p>VI 学校生活全般について</p> | | |
| <p>＜生活指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて 保護者81%、生徒90%、地域68% 教員91% | <p>＜四者による学校評価アンケートの主な内容＞○成果 ●課題</p> <p>○生徒は学校のきまりやマナーを守り、落ち着いて勉強していること90%の生徒が肯定的な回答をしている。</p> <p>●保護者の肯定的評価は81%とやや低く、生徒個々と集団の規範意識向上に取り組んでいくことが課題である。</p> <hr/> <p>＜学校評価委員の意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内に落ち着いた雰囲気を感じられた。生徒が先生方を信頼して、安心して授業を受けている様子がかがえた。よい雰囲気を継続して行ってほしい。 ・いじめ防止について様々な取組があり素晴らしい。いじめのない学校づくりに取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣い、身だしなみとポイントを絞った共通実践項目を継続して指導する。 ・朝のあいさつ運動、8時20分朝読書開始（5分前行動）、授業のチャイム始動の取組を全校体制で行っていく。 ・いじめ防止対策委員会を月2回以上開き、日常の行動観察や定期的なアンケートを継続しながら、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・特別支援教室の広報・啓発活動に努めるとともに、特別な支援を必要とする生徒への対応について継続して研修を深める。 |
| <p>＜防災教育・安全指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて | <p>＜四者による学校評価アンケートの主な内容＞○成果 ●課題</p> <p>○「あなたは、災害時に自分の安全を守るため、適切に行動することができますか」に対する生徒の肯定的評価は、昨年を6ポイント上回り97%と極めて高い。</p> <p>○安全教育の対応については、教職員の評価も5ポイント上昇した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットトラブルの未然防止を重視し、ICT支援員や外部機関と連携し、生徒の実態に合わせた情報モラル教室を実施するとともに、適宜全校集会で指導していく。また、保護者対象の情報モラル教室も開催する。 |

| | | |
|---|--|--|
| <p>保護者 78%、生徒 97%、教員 91%</p> | <p>●事件・事故等の対応防止に関して保護者の「わからない」という回答が 19%あり、学校だより、学年だより等などの広報活動に課題がある。</p> <p><学校評価委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルメットを着用しての避難訓練は素晴らしい。計画的に避難訓練を行う様子が伺えた。災害時に、中学生としてどう活動したらよいのか考えさせることも大切である。 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な場面を想定した避難訓練等を計画的に実施し、事故や災害に対する知識を高め、自ら適切な行動を取ることができるよう指導を継続して行う。 防災教育、安全指導に関する学校の取組を、学校だより、学年だより等で多く発信していく。 |
| <p><小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校や同じ中学校区の小学校との連携について <p>保護者 77% 教員 87%</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ICT機器の活用」や「アクティブ・ラーニング」をテーマとして年1回ずつ、小・中学校それぞれの各教科の授業を見合い、9年間を通した育成を目指し連携を図ることができた。 ○6年生対象の授業体験は今年度は全教科実施し、部活動体験と併せ、児童に好評であった。 ●教員の評価が10ポイント上がったが、準備等の煩雑さ等がある。 <p><学校評価委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童と生徒がもう少し交流をもつ機会があってもよいのではないかと連携して健全育成に取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 「小・中連携子ども育成プラン」を作成し、児童・生徒の交流やカリキュラムなどを含む連携を図り、9年間を通した子どもの育成を目指す。 来年度も小学生を対象に授業・部活動体験を実施し、児童と生徒の交流を充実させる。 教員同士がお互いの授業を参観し、研修会を実施することにより、課題を共有し、連携に生かしていく。 |
| <p>VII 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の情報発信や地域人材の活用、保護者の協力状況、PTA 活動の充実などについて <p>保護者 85% 地域 91% 教員 100%</p> | <p><四者による学校評価アンケートの主な内容>○成果 ●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校と地域の連携については、地域行事に生徒を積極的に参加させていることもあり 91%の肯定的な評価である。 ●保護者の学校への協力については、4ポイント評価が上がったが、学校への理解と協力が得られるよう工夫する必要がある。 <p><学校評価委員の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校だより「しらさぎ」で学校の様子がよく伝わってきた。毎号楽しみにしている。保護者がもっと積極的に学校のことを知り、関わることも必要ではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> 信頼される学校を目指し、様々な機会を利用して、学校全体で情報を発信し、保護者・地域との連携を深める。 「見守りメール」は好評であるため、登録率 100%を目指す。特に、入学時が登録するよい機会であり、積極的に保護者に呼びかけを行う。 地域行事への参加、地域人材の活用など、積極的に推進する。 |

※ 「四者による学校評価アンケートの主な内容」においては、共通設問や学校独自で設定した項目に対する評価の割合の平均値を示しています。